

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和2年10月31日（土） 午後2時～午後3時30分

会場名：市役所本庁舎

参加者数：25名

出席議員：中村文隆 高畑吉成 吉野省三 高橋久和 島正己 伊勢司 不後昇

【記録者：不後昇】No1

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
質問者：地域振興会 昨年12月に議長から議員定数問題等に関する協議を議会改革特別委員会に付託されたとのことだが、どういう経緯でなされたのか伺う。	議会の改選時期は11月である。議員定数は重要な課題であり、4年ごと9月議会までに協議を重ねて来た経緯に基づき、議会改革特別委員会に協議の付託を行ったものである。
質問者：商工会 9月定例会で定数削減案件が否決された。コロナ禍において市民の意見を聞く機会が取れなかったとのことであるが、今後、議会報告会に参加できなかった市民の意見も反映しながら、再度、挑戦してもいいのではないか。	市民の皆さんが、定数問題を含め議会に対して、こういったご意見を持っておられるのかをお聞きするために、議会報告会を開催し、皆さんからの意見やアンケートを頂くわけである。今回参加できなかった方々についても議会ホームページに掲載したアンケートなどを通して意見を頂き、それらも参考にして協議していきたい。

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和2年10月31日(土) 午後2時～午後3時30分

会場名：市役所本庁舎

参加者数：10名

出席議員：中村文隆、不後昇、島正己

【記録者：島正己】No 1

議会報告会(第1・2部)での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：PTA連絡協議会</p> <p>小中学校のコロナ対策について議会として何か行ったことはあるか。</p>	<p>コロナ感染防止のため、学校休業の開始時期や期間の判断について、他市の動向を伺うのではなく、教育委員会等当局側と議論を重ね、射水市独自にスピード感を持って決定するよう促した。また、保護者への情報伝達に議員各々が努めた。</p> <p>また、タブレット一人1台という国の方針前にICT教育の推進を他市に先駆けて行うよう再三当局に提案し、本市では先行して進んでいたことが、ある程度今回のコロナ対応に役立ったところはある。しかし、ICTに関しては教員スキルの問題もあり、学校により対応にばらつきがあったことは否めない。プリントなどの教材ダウンロードなども完全に対応できなかったところもある。コロナ感染症の第3波、第4波も予想されることから今後さらにオンライン授業などICT教育の一層の推進に議会としても取り組んでいきたい。</p>
<p>質問者：PTA連絡協議会</p> <p>コロナの影響で先生方の負担は一層増加している。少人数学級導入に取り組み、ゆとりある教育環境を目指して、結果的に人口増にも繋がるよう議会でも盛り上げて頂きたい。</p>	<p>少人数学級導入については、決して否定するものではないが、本市では教職員の加配等による対応を行っている。射水市単独で実施できることには限界があるものの、学校ごとの人数や規模の違いも考慮しながら問題意識を持ち、教育の機会均等の視点に留意しつつ、教育環境の充実に議会としても取り組んで参りたい。</p> <p>また、特にエアコン整備については、早くから議会として強く働きかけをした結果、早期整備が実現し、結果として三密防止の対策に繋がったと考えている。</p>

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
質問者：P T A連絡協議会	
夏のエアコン使用時、三密を避けるために教室の窓を開け、子供たちは暑い環境にあったが、職員室は窓を締めきり教員だけは涼しい環境にいた。どうしてこういうことになっているのか。生徒も先生も同じ環境に統一してほしい。	P T A役員と学校側との普段のコミュニケーションの在り方、そこから醸成される信頼関係を活かして、個々の教育現場において円滑に対応されることをまずは望むが、現状把握して対応する。
質問者：P T A連絡協議会	
このように市民の意見を少しでも多く吸い上げる機会を今後も続けて設けてほしい。I C T教育や病児保育について、子ども達にとって真にためになる射水市としてのあり方を考え示してほしい。	I C Tのハード面については環境がほぼ整ったが問題はそれをどう使うか、ソフトの部分で、特にそれを教える側、教職員のレベルを今後如何に上げていくかということである。専門的熟練者を如何に増やしていくかについては、英語教育など新たに取り組む分野が増える中で、働き方改革にも配慮するなど教育現場の置かれている状況はかなり困難を極めている。しかし、教育は待ってくれない時間との闘いでもある。一生懸命やるしかないという言い方になるが、議会としても問題意識をしっかりと持ち、取り組んで参りたい。また、子育てするなら射水市でというスローガンは病児保育のような手の届きにくい所にも目を向けていくということでもあるだろう。
質問者：P T A連絡協議会	
学校再編について「学校のあり方検討委員会」は10年近く開かれていないようだがなくなったのか。	課題がなくなったわけではない。今後の各学校の生徒数学級数については将来に亘ってデータがはっきり示されている。その中で複式学級の発生など、今後、子ども達の教育環境に著しい変化が予想される場合、当然のことながら検討委員会で議論されることになる。しかしながら、今のところこのことについて、特に議会側から問題提起をする状況にはないと言える。他市に見られるような義務教育学校の検討など新たな展開も予想されるが、いずれにしても、このあり方については自治会、地域振興会の皆さんの考えよりも、まず優先されるべきは子ども達の教育環境がどうあるべきかということである。しかしながら、このことについても、保護者間や夫婦間においても考え方が様々であり難しいテーマであることは間違いない。

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
質問者：PTA連絡協議会	
いじめに対する学校側からの情報が少ないので状況把握ができない。正確に情報提供してほしい。学校側に隠ぺい体質があるのではないか。いじめがなくなるようにならないものか。	<p>いじめがなくなることはない。従って、発生した時に如何に迅速にしっかりと対応するかが問われる。PTA役員の皆さんが日頃から教職員とのコミュニケーションを密にし、いざという時に迅速かつ慎重に対応できるような関係性を作っておくことが大事である。</p> <p>いじめが発生した場合の教職員の対応については管理者（校長）のタイプにもよるが、それがどういうものかは過去の小杉中学校の不幸な事件等を通して良く理解しているつもりだ。場合によっては、保護者が一致団結して事に当たらなければならない事例も発生する可能性がある。</p> <p>また、いじめの件数や内容については各学校の学校評議員会で報告されているはずである。</p> <p>どうしても対応できない場合は我々議員も動くが、教育委員会を動かすとかえって陰に隠れてしまうこともある非常にナイーブな問題である。</p> <p>いずれにしても、PTA会長さんは、しっかりとした対応が求められる。いじめた方もいじめられた方も、保護者はPTA会員なのだから。</p>

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和2年10月31日（土） 午後2時～午後3時30分

会場名：市役所本庁舎

参加者数：9名

出席議員：吉野省三、伊勢司、高橋久和、高畑吉成

【記録者：高畑吉成】No 1

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
質問者：地域振興会 定数について ・ 19名でやってきたのだから、他の市の定数は関係ないのではないか。 ・ 定数を22人に戻して定数割れをしたらどうするのか。	<ul style="list-style-type: none">・ 削減についてはメリット・デメリットがある。・ 成り手不足の現状がある。・ 議員提案に至るまでには、激論が交わされた。・ 「弊害もある」ので否決されたと考える。 ・ 「定数割れ」については、タラレバの話で結論は出ないが、決定事項についての議会責任はあると考える。・ 賛成は19名中7名だった。・ 議員の定数よりも、資質が大事。・ 市民感覚からずれたら議員はできないと考える。・ アンケート結果・意見を参考にしながら今後活かしていきたい。
・ 議員は、もっと地域に密着すべきではないか。（地域は、議員提案について聞いていなかった。）	<ul style="list-style-type: none">・ 各議員は、それぞれ市政報告会等を行っており、不十分かもしれないが地域に報告している。 ・ 議員は主となる地域においては、意見交換している。

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：地域振興会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月の議員提案は突然の事であった。 ・ 民意の尊重・反映がなかったのではないか。 ・ 住民は横に置かれた感じであった。 ・ 定数は議会で決めるが、住民の想いに耳を貸すのが不十分ではないか。 ・ 定数と報酬を合わせて考えるのは疑問。報酬審議会もある。「定数」と「報酬」は客観的に判断されるものであり、別々に考えるものである。 ・ 定数減の分を報酬に反映させるのはおかしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民意の反映について強い意見があることを、今後反映していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 射水市単独で行っているコロナ対策、予算額について伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方創生臨時交付金は射水市単独事業である（78事業・約8.9億円） ・ 限度額約11.9億円。約8.9億円使った。約3億円残額がある。（中には県とのタイアップ事業もある）
<p>質問者：商工会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議員提案は順序が逆な気がする。（民意を問うてからの提案・採決ではないか） ・ 定数削減効果が1億円余りと言う事だが、それをコロナ対策費に投入してもらいたい。 ・ 上下水道料金の減免事業は射水市単独事業であるが、経営が苦しい商工業者の中でも知らない事業所が多い。周知が足りないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道減免事業の予算は約1.8億円である。 ・ 市報等で周知を図っているが、情報が届いていないという事であれば、当局を交えて考えていく必要がある。

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等

質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：地域振興会</p> <p>・議会報告会の内容を地域振興会に話したいのだが、ずばり、「議員提案が否決になった理由」は何なのか。</p>	<p>・「議員定数削減」は、議員の報酬・年金問題等と同じく議員の処遇改善の一つ。</p> <p>・若手・女性が立候補できる環境整備が必要である。</p> <p>・定数だけを先行して決めるのは時期尚早と考える議員や意見が多かったからではないか。</p> <p>・2名の反対討論の内容は、「議員が減ると住民からの広い意見が聴取できなくなる」「同規模他市の平均が21.56人である」であった。</p>
<p>質問者：地域振興会</p> <p>・市民の声（民意）を聴いてほしかった。それから議会に諮ってほしかった。</p> <p>・コロナが収まってきて議会報告会を開催できた。このタイミングで報告会等により民意を聞いてから、提案・採決をしたらよかったのではないか。</p> <p>・9月でなければダメだったのか。</p>	<p>・議会としては、先に市民の声を聴きたかったが、コロナ禍もあり、総会等が中止や延期となり聞く機会がなかった。</p> <p>・先に地域に提案をしたかった。9月での議員提案がなかったら、問題がただ先送りになってしまう事も心配した。</p> <p>・予算編成の時期もあるので、定数を踏まえた予算を作成するためにも9月に決めなかった。</p> <p>・コロナの影響がなければ、遅くとも9月には意見聴取後の提案・採決ができた。</p>
<p>質問者：地域振興会</p> <p>・地域振興会連合会の会合に議会は顔を出して、情報を流してもらいたいと思う。検討してもらいたい。</p>	<p>・年初には、議会の想いを総会等で報告した上でアンケートを実施し、計画・提案・採決したかった。</p> <p>・提案として受け取り、議会で話し合いをしたい。</p>

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和2年10月31日(土) 午後2時～午後3時30分

会場名：救急薬品市民交流プラザ

参加者数：36名

出席議員：石黒善隆、小島啓子、奈田安弘、堀義治、瀧田孝吉、根木武良

【記録者：堀義治】No1

議会報告会(第1・2部)での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：農業協同組合</p> <p>議員定数について これまで3人減でやってこられたので定数を減らせばどうか。そして、報酬を上げればいいのではないか。どこまで上げるかは報酬審議会が決める事ではあるが。</p>	<p>これは要望として伺っておく。</p>
<p>質問者：地域振興会</p> <p>議員定数削減について 9月議会を傍聴していた。定数削減は否決された。春先は、たぶん賛成の方が多かったと思うが、なぜ否決されたのか議会中の話し合いが見えない。</p> <p>アンケートをなぜ取らなかったのか。</p> <p>9月議会を傍聴していたが、傍聴者が少ない。1年を通して何回か夜間または土日の開催ができないか。</p>	<p>議会改革特別委員会の中で1年かけて議論してきた。全体の流れの中で議員個々の考えで、7対11で否決された。これが今までの経緯である。</p> <p>アンケートについては、市全体の各種団体の総会や会合に合わせてアンケートのお願いに回る予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、ほとんどが中止になりアンケートを取れなかった。</p> <p>夜間、土日の開催は今後議会で考えていく問題だと思う。</p>
<p>質問者：老人クラブ連合会</p> <p>議員19人で議会運営をしてこられたから今後も19人で運営すればどうか。</p>	<p>議員も後援会の席や市政報告会などで話をして、いろいろな方の意見を聞き、議員の方々の考えで否決されたと思う。</p>

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
質問者：社会福祉協議会 基本条例を制定したと聞いた。その中で、議員の災害時行動計画の策定があるがどう関わるのか。	平成30年の6月から9月にかけての当時の議会改革特別委員会で検討し、明文化されたものがあるので紹介する。 大きな災害が起きたときに、議長の行動としては速やかに登庁し、射水市の災害対策本部と連絡が取れるように議会事務局と体制をとる。議員は自らの安否を議会事務局に報告する。連絡体制を確立したうえで、それぞれ地元地域の活動に地域の一員として協力する。議会事務局は速やかに登庁し、各議員の安否確認に努め、市の災害対策本部と連携できる体制を整える。こういったことを第一に行う、行動的なことを示した資料があるということである。

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：農業協同組合</p> <p>市民病院は赤字になっている。 民間（真生会）病院では診療の受け入れ時間など通院しやすい工夫をしている。 名の知れた医師を確保するなど経営改善に努力してもらいたい。</p>	<p>国の地域医療構想に基づく、公立病院改革プランに沿って進めており、地域包括ケア病床に重きをおいて病床稼働率の上昇に努めている。 医師確保については、富山大学附属病院と連携を深めている。</p>
<p>質問者：保育園、幼稚園</p> <p>病児保育については、保育園には常時医師がいるわけではないので対応は難しい。 市民病院で病児を預かるような施設ができないだろうか。</p>	<p>病児保育の重要性については十分認識している。 参考意見として検討していきたい。</p>
<p>質問者：保育園、幼稚園</p> <p>コロナ禍において各保育園は緊張感をもって取り組んでいる。 市から安全対策に関する文書は届いたが、具体的な対処法の説明はなかった。（例えばコロナ感染の子どもが出た場合の対応など） 感染症対策の体制をしっかりと整えてもらいたい。</p>	<p>貴重な意見として受け止めていきたい。</p>
<p>質問者：社会福祉協議会</p> <p>市民病院のベッド回転率は民間病院と比べて下回っている。 民間病院が行っている時差診療などの手法も参考にして通院しやすい仕組みを作っていたきたい。</p>	<p>しっかりと受け止めて調整していきたい。</p>

議会報告会 記録用紙 兼 報告書

開催年月日：令和2年10月31日（土） 午後2時～午後3時30分

会場名：クロスベイ新湊

参加者数：21名

出席議員：津田信人、加治宏規、竹内美津子、山崎晋次

【記録者：山崎晋次、竹内美津子】No1

議会報告会（第 1・2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
議員定数や報酬について、類似団体を調べているのか。比較するとどうなのか。	議会改革特別委員会に資料として出されている。概ね、同水準である。政務活動費は若干高いかもしれない。
現在の共済（議員年金）の受給者数や金額はわかるか。	平成23年6月に議員年金制度が廃止され、清算された方もいる。この場では、人数や金額はお答えできない。

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：漁業協同組合</p> <p>3月中旬から魚価が低下し収入が50%に低下した。</p>	<p>販売促進や販路拡大等による再構築などが考えられる。</p>
<p>質問者：漁業協同組合</p> <p>市職員へ魚の販売もありではないか。購入したいという声がある。</p>	<p>地獲の魚を市民が港で直接買えるようにするなど一つの策として考えられる。協力する。</p>
<p>質問者：農業協同組合</p> <p>学校給食の中止、酒屋や飲食店の休業による加工米の需要低下等の影響により、今後米価の下落が懸念される。</p>	<p>左記のとおり、ご意見をいただいた。</p>
<p>年末の農家への追加払いの概算金はどうなるか分からない。麦、大豆などの転作補償に係る市の助成金は毎年シーリングにより減額され大変厳しい。</p>	<p>左記のとおり、ご意見をいただいた。</p>
<p>質問者：漁業協同組合</p> <p>カニカニまつりが中止になった。11月14日、15日にクロスベイで店頭販売を予定している。</p>	<p>左記のとおり、ご意見をいただいた。</p>
<p>質問者：漁業協同組合</p> <p>本日の議会報告会のように、議員が訪問して意見交換会を開いてくれたことに感謝している。</p>	<p>左記のとおり、ご意見をいただいた。</p>
<p>学生支援の一環として、米に加えて海産物等を送る支援策は大変良かった。</p>	<p>各種イベントが中止される中、今後も海産物・農産物の需要を喚起していくことが大切である。</p>

議会報告会（第 1・2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：一般市民</p> <p>国、県、市の税収減に伴って福祉施設への対応はどうなっていくのか大変不安である。行政の進路を見極めてほしい。</p>	<p>市議会と市当局がチームを組んで、国の状況も見ながら、最善の方策を取りたい。</p>
<p>質問者：老人クラブ連合会</p> <p>コロナ対策の地域ごとの対応尺度（例：コミセンの使用対応、100歳体操の為の換気等）がわからない。また、各団体に任せること、してはいけないことの責任を負わせることは難しい。具体的な指示がほしい。</p>	<p>このコロナ禍は初めての体験で手探り状態であり、他市のやり方も参考にしながら、また、市民の皆さんの具体的な考えも聞かせてほしい。</p>
<p>税収減と合併特例債終了の内容をきちんと開示してほしい。痛みを市民と共に分かち合ってほしい。市民が理解できるように手の内を見せてもよいのではないか。</p>	<p>市当局も初めての対応を求められている。試行錯誤を繰り返しながら、痛みを市民と共に分かち合いたい。</p>
<p>質問者：一般市民</p> <p>議員年金の現況について伺う。</p>	<p>これまでの経過と現在の状況を説明。</p>
<p>質問者：老人クラブ連合会</p> <p>スポーツクラブは、コロナの影響による会員減少に苦慮している。指定管理費が減額されると会費収入の減少と相まって維持することが困難になってくると思われるが、従来通りにならないのか。</p>	<p>来年度の予算編成に関しては未定である。10%シーリングは公表されている。</p>
<p>質問者：一般市民</p> <p>（コロナ禍における食生活改善推進員の活動の苦労や制約について説明）</p>	<p>コロナ禍における新しい生活様式や三密回避対応に自覚が芽生え、また、正しく恐れて行動することに慣れていくことが大事なのではないか。</p>

議会報告会（第 1 ・ 2 部）での意見等	
質問、意見の要旨	議員回答の要旨
<p>質問者：地域振興会</p> <p>地域振興会もスポーツクラブと同じように影響してくるのか。どこでメリハリを効かせるかが問題である。感じる度合いに違いがあり難しい。</p>	<p>大会開催などにおいて、工夫していくことも大切ではないか。</p>
<p>質問者：一般市民</p> <p>リモートについては年齢による理解度の違いがあり、高齢者はなかなかなじめない。</p>	<p>現状として、小中学校においてはリモート授業を実施している。</p>
<p>実際にリモート事業を計画している。努力すればできる。</p>	<p>市においては、児童生徒一人1台のタブレット端末事業などを実施予定としている。</p>
<p>いみずうまいもん券事業、スクラッチカードや各G o T o事業などのQ & Aを整理して、恩恵の受け方を分かりやすく工夫してほしい。</p>	<p>（「第2弾いみずうまいもん券」や「いみずスクラッチくじ」について説明）事前PRを繰り返し行っており、不公平にならないようにすべきと考えている。</p>
<p>質問者：一般市民</p> <p>自治会活動では、どこまでやって良いのか悪いのかのガイドラインを示してほしい。また、住民同士の繋がりが希薄になってきているため、一旦やめてしまったら二度と続かなくなるおそれがある。</p>	<p>一律にはならないと感じている。地域においても、対応を相談いただきたい。</p>
<p>町内清掃、忘年会、新年会、年末警戒、総会などコロナ発生の恐れがあることに対してコロナ対応パターンを考えていくべき。</p>	<p>左記のとおり、ご意見をいただいた。</p>
<p>風評被害はこわい。</p>	<p>触れないという方法をとっている地域がある。</p>